

第 2 学年	技術 科	使用する教材： ・教科書 ・ハンドノート ・プリント課題 ・実習教材	担当教諭 戸田 吾朗
--------	------	--	---------------

学習目標

技術の見方・考え方を働かせ、ものづくりなどの技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を育成することを目指す。
---

通知表のつけ方

評価の観点		評価材料
知識・技能	・個別の知識及び技能を習得している。 ・それらを既存の知識及び技能と関連付けたり活用したりする中で、概念等として理解したり、技能を習得したりしている。	・単元テスト ・ハンドノート ・プリント課題 ・振り返りカード ・授業・実習のようす
思考・判断・表現	・知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力等を身に付けている。	
主体的に学習に取り組む態度	・主体的に学習に取り組む態度が身についている。 ・粘り強い取組を行おうとしたり、自らの学習を調整しようとする。	

授業計画

	単元	学習内容	付けたい力	備考
前期（4月～9月）	生物育成の技術についての基礎的・基本的な知識・技能	・わたしたちの生活と生物育成 ・生物の育成 ・作物の栽培 ・動物の飼育 ・水産生物の栽培	・作物、動物及び水産生物の成長、生態についての科学的な原理・法則が理解できる。 ・生物の育成環境を調節する方法などの基礎的な技術の仕組みが理解できる。 ・生物育成の技術に込められた工夫を読み取ることができる。 ・生物育成の技術の見方や考え方に気付くことができる。 ・進んで生物育成の技術と関わり、主体的に技術を理解し、技能を身に付けようとする。	
	生物育成の技術による問題解決	・実習	・安全・適切な栽培又は飼育、検査等ができる。 ・生物育成の技術の見方・考え方を働かせて、問題を解決できる。 ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようことができる。 ・問題解決とその過程を振り返り、よりよいものへ改善・修正しようことができる。	
	社会の発展と生物育成の技術	・生物育成に関する技術の評価・活用	・生活や社会に果たす役割や影響に基づいた生物育成の技術の概念を理解できる。 ・よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を評価し、適切に選択、管理・運用したり、新たな発想に基づいて改良、応用したりすることができる。 ・よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、生物育成の技術を工夫し創造していこうとする。	
後期（10月～3月）	エネルギー変換についての基礎的・基本的な知識・技能	・わたしたちの生活とエネルギー変換 ・電気エネルギーの利用 ・動力の利用 ・エネルギー変換の実際	・電気、運動、熱などについての科学的な原理・法則が理解できる。 ・エネルギーの変換や伝達などに関わる基礎的な技術の仕組みが理解できる。 ・エネルギー変換の技術に込められた工夫を読み取ることができる。 ・エネルギー変換の技術の見方や考え方に気付く。 ・進んでエネルギー変換の技術と関わり、主体的に技術を理解し、技能を身に付けようすることができる。	
	エネルギー変換の技術による問題の解決	・実習	・安全・適切な製作、実装、点検及び調整等ができる。 ・エネルギー変換の技術の見方・考え方を働かせて、問題を見いだして課題を設定し、解決できる。 ・自分なりの新しい考え方や捉え方によって、解決策を構想しようとする。 ・自らの問題解決とその過程を振り返り、よりよいものとなるよう改善・修正しようとする。	
	社会の発展とエネルギー変換の技術	・エネルギー変換に関する技術の評価・活用	・生活や社会に果たす役割や影響に基づいたエネルギー変換の技術の概念が理解できる。 ・よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、エネルギー変換の技術を評価し、適切に選択、管理・運用したり、新たな発想に基づいて改良、応用したりできる。 ・よりよい生活や持続可能な社会の構築に向けて、エネルギー変換の技術を工夫し創造していこうすることができる。	